

寺
ごよみ

四月

一日 ほつこり法座
 二日 清掃奉仕
 四日 行信講座
 正信偈に学ぶ
 一六日 ほつこり法座

花まつり

二三日午前九時
 花かざり

二四日午前十時
 花まつりマルシェ

※初参式・七五三に参
 加希望の方はお寺まで
 ご連絡ください。

寺 報
 ぜん ぎょう
 善 巧

発行

〒938-0862 富山県
 黒部市宇奈月町浦山497
 白雪山 善巧寺
 TEL (0765)65-0055
 FAX (0765)65-0975
<http://www.zengyou.net>

花まつり

お釈迦様のご誕生をご縁に

四月二十四日午前十時



インターネット用語の「シェア」という言葉がよく使われるようになりました。みんなで共有するという意味で使われ、言葉や思想や写真や映像など、ひとりで独占せずに与えたり与えられたりする考え方です。

これは今さら英語であらわすまでもなく、みなさんが日常的に行っていることで、生活の中の智慧を教えあったり野菜のお裾分けなどもそれにあたるでしょう。

仏教では「布施（ふせ）」や「喜捨（きしや）」という言葉があり、見返りを求めずに相手に与えることです。喜んで捨てることまではとても言えませんが、人に何かを与えて喜んでくれた時はとてもしあわせな気持ちになります。

最近、外から声をかけてもらう機会が増えました。ありがたいことに、

シェア

これまでの経験を評価してくださる方がいて、いくつかの企画や運営に関わっています。本願寺富山別院では宗教者の釈徹宗先生と各分野のスペシャリストによる対談企画「ゆるふか対談」のお手伝いをしています。宇奈月温泉の文化施設「セレネ」でも音楽イベントを企画することになりました。ほつこり法座も評価してくれる方がいて、その詳細をインタビューしてもらいました。これまで自分がかつてきたことを活かしてそのノウハウをシェアしていくことにとてもやりがいを感じています。

どこまでいっても自尊心の塊ではありますが、与えられた場を大切に過ごしていきたいです。善巧寺にもその循環が生まれるようにつとめます。

雪山俊隆

除夜の鐘

一月一日

新年の除夜の鐘は例年以上に参拝者が多かったです。調べてみると、全国的にも除夜の鐘や初詣が多かったようで、心を切り替えたい気持ちや自粛疲れが影響したのかもしれない。



御正忌報恩講

一月十五く十六日

親鸞聖人の祥月命日につとまる御正忌報恩講。初日の法話は高島康彦さんが担当し、蓮如上人の

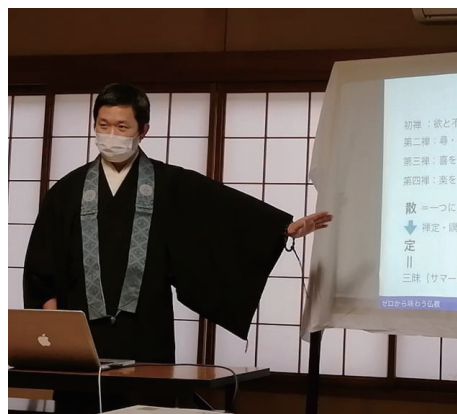
言葉を取り上げながら丁寧なお話をいただき、二日目は神子巧照さんより、阿弥陀如来の光「十二光」のお話でした。総代さんと婦人会の役員方中心のお参りとなり大事なおつとめしました。



照行寺・神子巧照さん



法輪寺・高島康彦さん



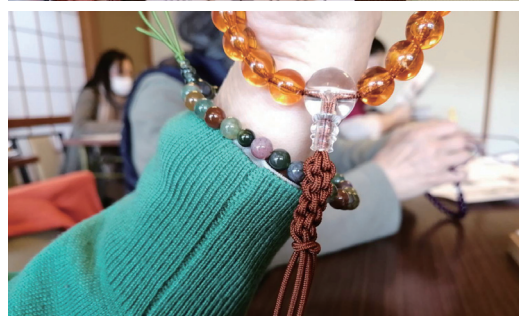
3/16 講師：日下賢裕先生



3/1 講師：村井敬成先生



2/1 講師：雪山俊隆



2/16 念珠づくり (木本仏具店)



仏婦役員会

三月五日

仏教婦人会の総会が行われました。法話は八尾町勝福寺の藤島秀恵先生よりお話いただきました。

「実るほど 頭（こうべ）をたれる 稲穂かな」。稲が成長すると実の重さで頭が下がってくるように、仏教は聞けば聞くほど、頭が下がる教えであることをお話されました。

仏教婦人会に関しては別紙をご覧ください。

正信偈の超訳

浄土真宗で最もよく読まれる「正信偈」には何が書かれているのでしょうか？その全体像をつかむために超訳しました。

「阿弥陀仏という名の仏さまは、いつでもどこでも、今ここにおられる仏さまです。その仏さまを私は心から敬います。」

※阿弥陀仏はどこか遠くにいる仏さまじゃないよ。

「阿弥陀仏は、仏さまになられる前、法蔵（ほうぞう）という名でした。法蔵は師とあおぐ世自在王仏のもとにおられる時、あらゆる世界を見た上で、すべてのいのちを救いたいという大きな誓いを立てました。」

※仏さまになる一步手前の段階を菩薩っていうんだよ。仏教ではいろんな菩薩や仏さまが出てくるよ。

よ。

「途方もなく長い時間をかけて、すべてのいのちを救いたいという願いを選びとり、南無阿弥陀仏をすべての世界に届けようと重ねて誓いました。」

※もの凄く長い時間をかけたのは、私達の迷いの深さをあらわしてるよ。だれひとり見捨てずもらさないというのが阿弥陀仏の大きな特長だよ。

「阿弥陀仏は、①量ることのできない光、②際限のない光、③さえぎられない光、④比べるものがない光、⑤最高の輝きをもつ光、⑥むさぼりを除く清らかな光、⑦いかりを除き喜びを与える光、⑧迷いを除き智慧を与える光、⑨常に照らす光、⑩おもいはかることのできない光、⑪言葉が及ばない光、⑫太陽も月

も超えた光、これら十二種類のはたらきをもつ光を放ち、すべての世界を照らします。」

※いろんな角度からの光はだれひとり漏らさないためだよ。同時に、自分がどんな状況や心持ちであつても救いの手を差し伸べてくれるということだね。

「南無阿弥陀仏をとなえることは、間違いなく救われるための行いです。それは、四十八にまとめた願いの中で十八番目の願いを根拠とします。」

※「わたしの十八番」という表現は、阿弥陀仏の一番大事な願い十八願からきてるよ。



続きは善巧寺のホームページをご覧ください。

寺
ごよみ

五月

寺
ごよみ

六月

一日 東狐・上野お講
一六日 ほつこり法座

一日 ほつこり法座
一六日 ほつこり法座

お釈迦様の

誕生月間

四月はお釈迦さまの誕生月です。本堂に釈迦像を設置しますので、甘茶かけにどうぞお立ち寄り下さい。





第13回
正信偈に学ぶ

日時 令和三年
 四月十四日(木)
 午後一時半～四時半
 白雪山善巧寺
 天岸淨園先生
 講師 行信教長
 本願寺派布教使
 主 催 専科会富山支部
 参加費 二千元
 (僧侶五千円)
 ※検閲をおこなわれる場合、飛脚がある場合はお控え下さい
 マーケットの費用は別記いたします。

感染予防の基本	
本調管理 室温を測定 湿度を確認	②手洗い・消毒 丁寧な手洗い 共有物も消毒
配置の工夫 伸ばしても ない程度に	③適度な換気 こまめに 空気を入れ換え

感染症対策を万全に行いま



毎月 1日・16日 11:00 ~ 12:30	ほっこり法座 みんなのお話と、お茶の時間を味わって。 「ここぞ」と「かたじけ」のデトックス。 どんなお話も聞いてあげよう。お楽しみください。 		
4/1 11:00 おつどい 11:30 開演 12:00 丹羽由紀恵 南無阿彌陀仏は消えない灯火 講師 青木 哲雄 先生 神戸市（東灘区） 福知山から来た方です。そこから何年経ても大阪府民であり続けるのは誇りに感じています。でもなぜ？ 福知山で生まれ育ちました。福知山の歴史や文化を学ぶことが大好きです。それは一生学び続けたいことではないですか？ 福知山を愛する気持ちを、東京に来て一緒に語り合いたいですように。		4/16 11:00 おつどい 11:30 開演 12:00 丹羽由紀恵 戦争をやめて！ 講師 飛鳥 真樹 先生 札幌市（道庁所在地） どこに暮らすのかということ、戦争が影響を与えています。私たちが戦時中を生き抜いてきたことが、今の世の中にもつながっています。	
5/1 11:00 おつどい 11:30 開演 12:00 丹羽由紀恵 信託について - 船橋 私のお金との付き合い方 - 講師 平野 明宏 先生 高崎市（山形県） 結婚や就職するにあたって、税金をお金とするのが当たり前です。しかし、税金というのは必ずしも必要なものではありません。税金、貸し借金の仕組みについて、学びましょう。		5/16 月 11:00 おつどい 11:30 開演 12:00 丹羽由紀恵 信託について - 後編 - 税関職人の視点とは？	

時間 10:30 受付 11:00 おやつめ 11:10 法話 12:00 昼食	お弁当 テイクアウト 料理店 クラマリーキッチン *当日会場での現金決済は不要です ※お申し込みの際にお知らせいたします。	参加費 1,500円（希望者のみ） 会場 白亀山園地5号 〒京都市南区467-0001 ☎ 0765-65-0056 予約制
---	--	--

[ぜんぎょうじ](#) [検索](#)



初参式

新たな命の誕生をよろこび、初めて仏さまにご挨拶をさせていただく大切な儀礼です。一生の記念にどうぞご参加ください。

時 間:10:00(受付9:30)
対 象:生後100日～2才頃まで
参加費:3,000円 締切り:4月17日



七五三
～子供の成長を仏前に祝う儀礼～

3才、5才、7才、は、昔から人生の節目とされてきました。今日まで無事に成長したことに感謝して、仏さまの前でお祝いする儀礼を行います。

時 間:10:00(受付9:30)
対 象:3才、5才、7才
参加費:3,000円 締切り:4月17日



ほつこり法座

南無阿彌陀仏は
消えない灯火

四月一日午前十一時

講師：青木哲隆

戦争やめて！

四月十六日 十一時

講師：飛鳥寛静

私の信心

五月一日 十一時

講師：平野明英

親鸞聖人の信心

五月十六日 十一時

講師：平野明英

清掃奉仕

四月十二日午前八時半

正信偈に学ぶ

四月十四日午後一時半

講師：天岸淨圓

花かざり

四月三日午前九時

合掌

善巧寺の花まつりは三十年以上続く行事です。年間行事の中でも特にクタクタになる行事ですが、こどもの笑顔が見られた時にいつも「がんばってよかった」と思えます。今年もフルパワーでがんばりますので、ぜひご参加お待ちしております。

巻頭にも触れましたが、本願寺富山別院で「ゆるふか対談」という行事を開催しています。すでに一回、料理研究家の土井善晴さんをゲストに迎えた回は終了しました。六月四日には芥川賞作家の平野啓一郎さん、八月二十日にはロボットを活用して支援活動を行う吉藤オリイさんを招いて開催します。興味のある方は声をかけて下さい！

ぜんぎょうじ

検索